

地域と連携した児童の安心・安全を確保する取組 (下松市立東陽小学校)

〈ねらい〉

学校・家庭・地域が連携して、学校安全3領域の観点から総合的に通学路の安全点検や安全マップづくり等を行う活動をするにより、地域ぐるみでの学校安全活動の充実を図るとともに、子どもたちが「自他の命を守る」という高い安全意識を育むことを目的として実施する。



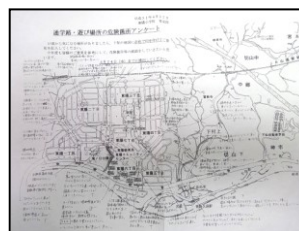
取 組 内 容

- 1 実施期間：令和2年5月～令和3年1月
- 2 実施校：下松市立東陽小学校（校長：星野 朋啓）
- 3 推進組織：教職員、保護者、学校運営協議会、県教委学校安全・体育課、学校安全アドバイザー、下松警察署、見守り隊

4 取組内容

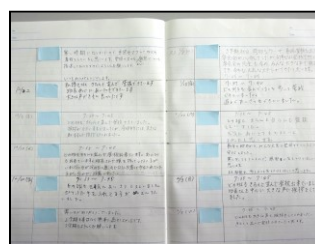
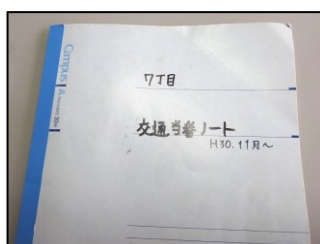
(1) 通学路の点検（教職員、保護者）

例年、本校教職員と保護者の方々により、通学路の危険箇所の点検を行うとともに、PTA主体で危険箇所のアンケートを取っています。点検とアンケートの結果をもとに、危険箇所をまとめた地図作りをしています。（本年はコロナ禍により教職員のみで実施）



(2) 朝の交通指導

毎月1日、10日、20日に各地区の保護者の方々と教職員で、児童の登校の見守りを行っています。地区ごとに交通ノートがあり、保護者の方々が児童の様子を見ての気づきを学校と共有しています。その気づきを基に児童への指導につなげています。



(3) 感謝集会の実施

児童の登下校を見守ってくださる見守り隊の方々を招き、日頃の感謝の気持ちを伝える集会を実施しました。その際、見守り隊の方がどのような思いで活動しているか話していただきました。



(4) 実践委員会の実施

教職員、見守り隊、学校安全アドバイザーを招き、地域の危険箇所や防犯など安心・安全に向けた話し合いを行いました。また、学校運営協議会においても協議を行いました。



(5) 危険予測学習（KYT）の実施

県教委学校安全・体育課のホームページに載っているKYT教材や東陽周辺の写真（上空からの俯瞰）を見て、どこにどんな危険があり、気を付けなければならないことは何かを話し合いました。



(6) 見守り隊の方による下校指導

毎週月曜日に1年生の下校の時間に合わせ、見守り隊の方が下校の付き添いをしていただきます。交通ルールや危険な場所についても指導していただけます。



(7) 小中合同の交通指導

同じ中学校区の久保中学校の教員と連携して、それぞれの学校の通学路において、交通指導を行いました。挨拶の大切さや安全意識をもつことの大切さを改めて実感する時間になりました。



5 成果

(1) 双方向の情報共有による地域との連携充実

交通ノートの活用や実践委員会、学校運営協議会の実施により、双方向で情報を共有することができ、地域と連携して一体となった安全指導を行うことができた。

(2) 安全意識の高まり

学校のみでなく、見守り隊の方や保護者の方からも安全についての指導をしていただいているため、児童の安全意識の高まりにつながった。また、登校班を中心に交通ルールや危険箇所をお互いに伝え合うなど、児童が主体的に安全について考えることができた。

6 課題

○コロナ禍の状況に対応した活動の設定

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度行うことができなかった活動があった。委員会による挨拶運動の実施や子ども110番の家への挨拶の実施等である。今後も、教員による活動に変更したり、代替活動を行ったりすることで、地域と連携した児童の安心・安全の推進に努めていく必要がある。